

新潟地震の時は…

- ・石山第二砂丘の辺りは液状化しなかった
- ・水道が止まったが、地域には井戸がおおくあったので利用した
- ・弁天線は細く、砂利であったが無事通行できた
- ・その当時、弁天橋、姥ヶ山橋は木の橋だったが、落ちなかった
- ・石山第二砂丘以外は田んぼだった
- ・山潟地区の石山第二砂丘以外の、鳥屋野潟に近いところの田んぼは、おそらく液状化の影響でぐちゃぐちゃになっていた

地域の社会特性

- ・鳥屋野潟を中心としたエリアであり、浸水すると、水が長期に留まるおそれがある。また液状化の心配が高い
- ・比較的大きな道路が少なく、避難路に限られる
- ・大型商業施設が点在するが、避難ビルとしての指定は進んでいない
- ・浸水が想定される A、B、E ブロックは、人口が多い

地域の被害特性

- ・山潟地区コミュニティ協議会エリアは、川から遡上して海拔 0メートル地帯に入った津波が鳥屋野潟に集中し、鳥屋野潟の水位が上がって、あふれた水がじわじわと浸水していくといったイメージ
- また浸水すると、水が長期に留まるおそれがある
- ・浸水が始まるまでに比較的時間の余裕があるので、孤立しないように声をかけ合って、浸水範囲外へ避難をする

各ブロックごとの具体的な避難方法

ブロック	特徴	期待される避難行動	避難目標
A	<ul style="list-style-type: none"> ・浸水すると、水が長期に留まるおそれがある地域 ・高志中等教育学校は学校自体は地盤が周囲と比べて高くなっているが、浸水が想定されるエリアに囲まれているので、孤立する危険性がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・高志中等教育学校へ避難する 	第 1 目標：高志中等教育学校
B	<ul style="list-style-type: none"> ・避難対策地域が大半を占める ・人口が多く、また高齢者も多い ・避難目標である桜が丘小学校は、体育館が 2 階にあり、長期避難にも適している 	<ul style="list-style-type: none"> ・桜が丘小学校へ避難する ・水が来たら山潟中学校へ避難する 	第 1 目標：桜が丘小学校 第 2 目標：山潟中学校
C	<ul style="list-style-type: none"> ・ほぼ全域が避難者受け入れ地域 ・田の真ん中に避難目標である山潟中学校が位置しており、避難経路は悪路も予想される 	<ul style="list-style-type: none"> ・山潟中学校を避難地とする 	第 1 目標：山潟中学校 一部の人は山ニツ神社
D	<ul style="list-style-type: none"> ・浸水すると、水が長期に留まるおそれがある地域 	<ul style="list-style-type: none"> ・エコスタジアムへ避難する ・距離があるので早めに避難する 	第 1 目標：エコスタジアム
E	<ul style="list-style-type: none"> ・浸水すると、水が長期に留まるおそれがある地域 ・以前水田だったので、液状化のおそれがある ・山潟小学校が避難目標であるが、エリアが広い ため、弁天線沿いの専門学校や商業施設に避難ができないか、今後話をしていく必要がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・山潟小学校へ避難する ・更に避難が必要となったら、エコスタジアムへ避難する 	第 1 目標：山潟小学校 第 2 目標：エコスタジアム
F	<ul style="list-style-type: none"> ・ほぼ全域が避難者受け入れ地域 	<ul style="list-style-type: none"> ・山潟会館へ避難する ・様子を見ながら、必要とあればエコスタジアムへ移動する 	第 1 目標：山潟会館 第 2 目標：エコスタジアム
G	<ul style="list-style-type: none"> ・避難者受け入れ地域 ・以前水田であったり盛土造成地のため、液状化のおそれがある 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域独自協定施設へ避難する 	第 1 目標：地域独自協定施設